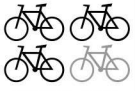


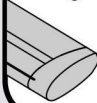
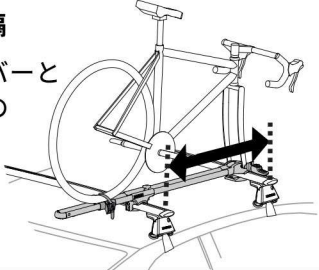


適合するクロスバー	 積載可能台数	クロスバー間隔	 耐荷重
 丸形	1台 〜 2台	41cm 〜 107cm	1台あたり 15.9kg
 四角形		46cm 〜 107cm	
 楕円形	3台以上		

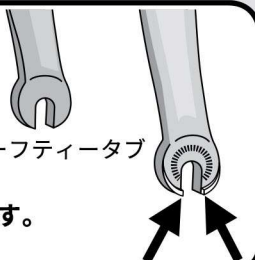
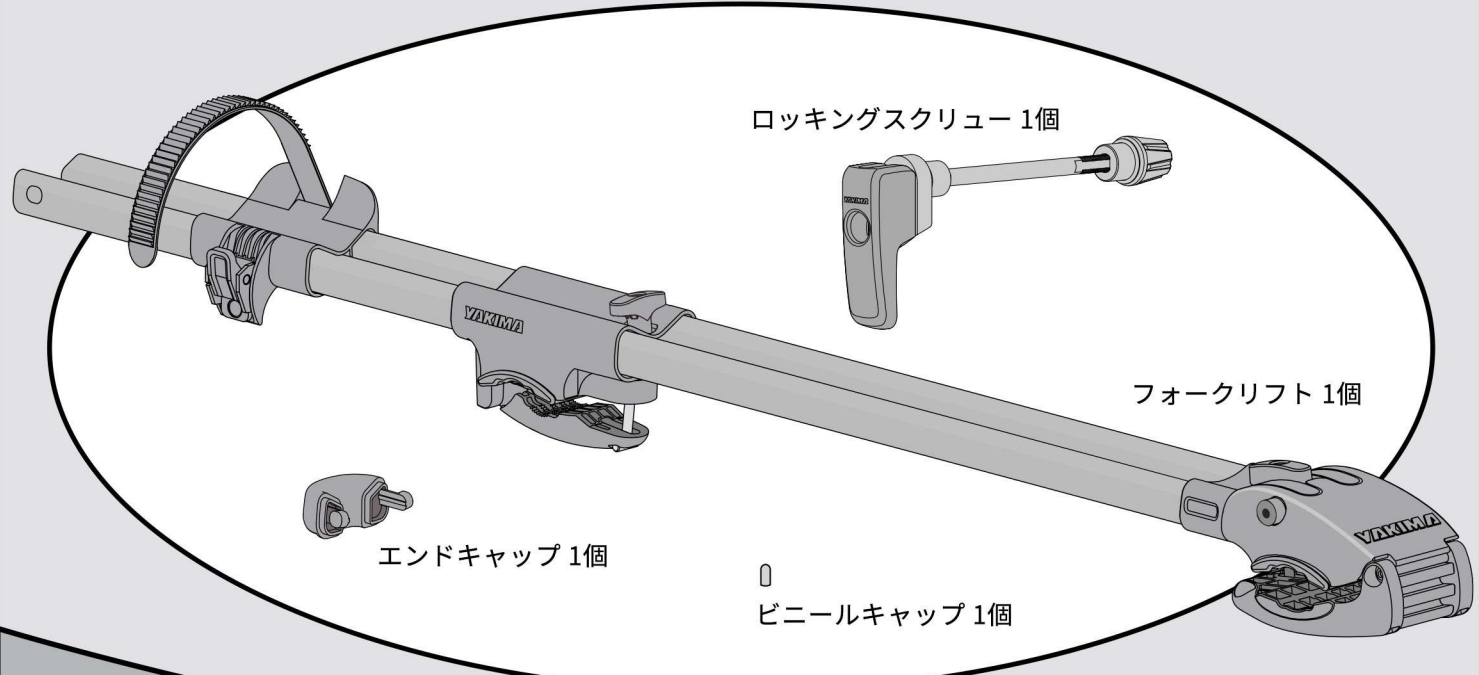
ベースキャリア及びルーフの耐荷重を超えないでください！

クロスバー間隔
 フロント側クロスバーとリア側クロスバーの距離です。



 セーフティータブ付き
 フォーク用に設計されています。

セーフティータブ

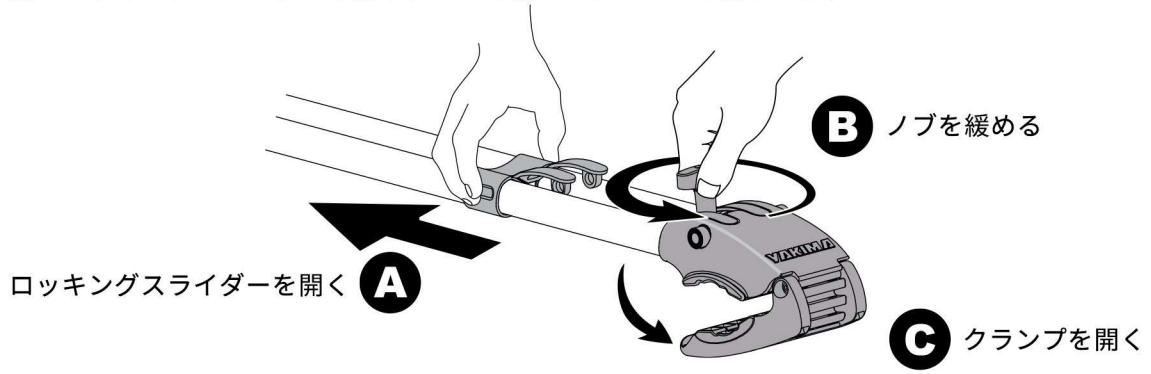



重要な警告

カーキャリアおよびアクセサリは、車両に適切かつ確実に取り付けることが重要です。不適切な取り付けは重大な事故につながる恐れがあります。カーキャリアおよびアクセサリを、車両に確実に固定し、使用前には取り付け部分に緩みなどがいないかを確認してください。

また、定期的に製品の調整や摩耗・損傷の有無を点検してください。取り付け時や使用前に、この説明書をよくお読みください。説明および注意事項よく分からない場合、あるいは機械的な経験がなく、取り付け手順に精通していない場合は、専門の取り付け業者に製品の取り付けを依頼してください。

1 フロント側のロックングスライダを開き、ノブを緩めてクランプを開きます。

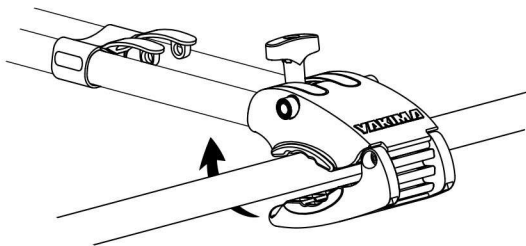


2 クランプをフロント側のクロスバーに取り付けます。

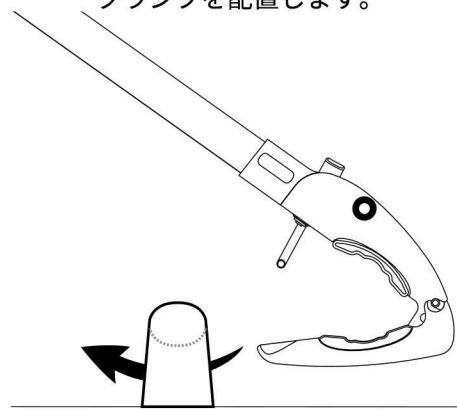


車両を傷をつけないように注意してください。
取り付け前にルーフに布を敷いておくと、
傷を防ぐのに役立ちます。

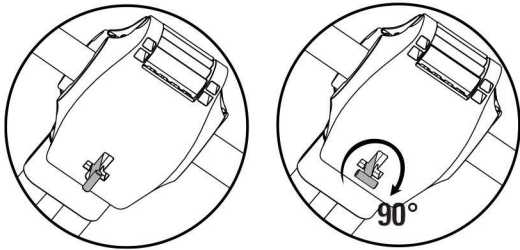
クランプを閉じてクロスバーをはさみこみます。



クリアランスが低いクロスバーの場合
車両のルーフに接触しないように、
フォークリフトを斜めに持ち
クランプを配置します。



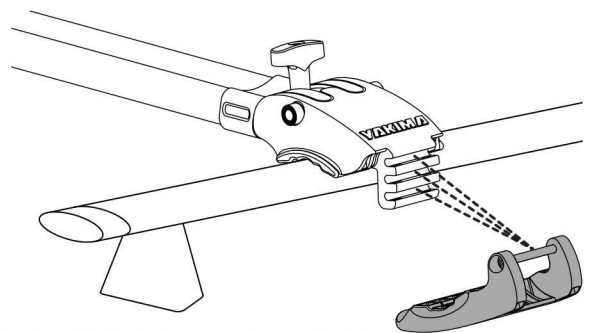
クランプの下からTボルトを通します。
Tボルトを回転させて、溝に収めます。



ノブを緩く締めてください。
最終的な締め付けは、リア側のクランプを
取り付けに行います。

必要に応じて、クランプを調整してください。

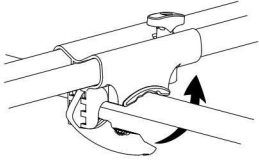
しっかりと固定できない場合は、ノッチの位置を
調整してください。



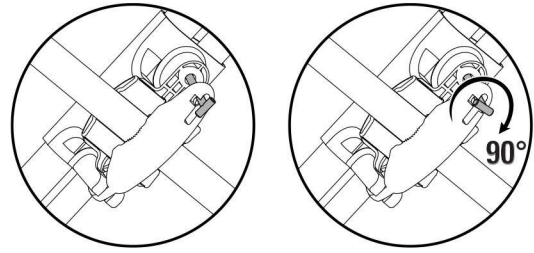
(丸形・四角形クロスバーの場合は
上側のノッチを使用してください)

3 リアクランプを固定します。

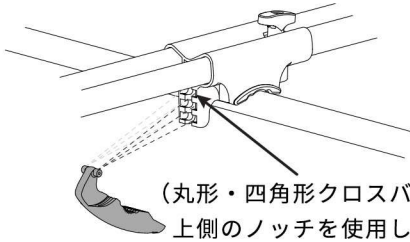
リアクランプをリア側のクロスバーに固定します。



クランプの下からTボルトを通します。
Tボルトを回転させて、溝に収めます。

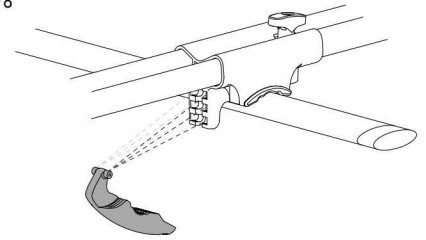


必要に応じて、クランプを調整してください。



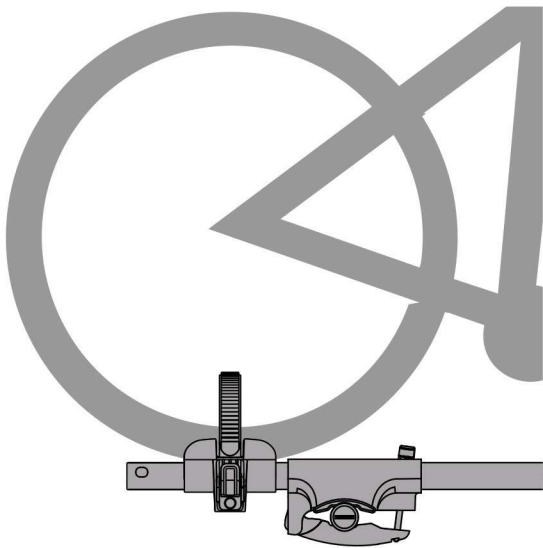
(丸形・四角形クロスバーの場合は
上側のノッチを使用してください)

しっかりと固定できない場合は、ノッチの位置を調整してください。



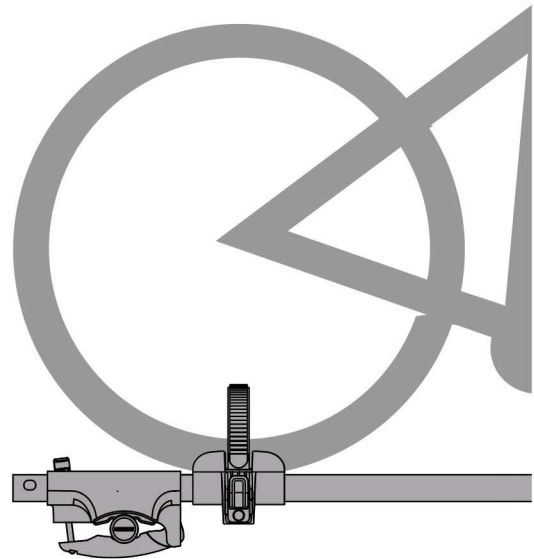
リアクランプは、一般的な方法で取り付けられたベースキャリアに合わせて設計されています。自転車のホイールがリアノブに接触する場合や、ホイールトレイがホイールに届かない場合など、状況によっては調整が必要になることがあります。手順については次のページをご覧ください。

取り付け方法 A

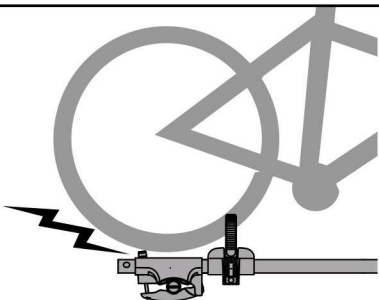


リアクロスバーの後ろにリアクランプを
取り付けた場合

取り付け方法 B

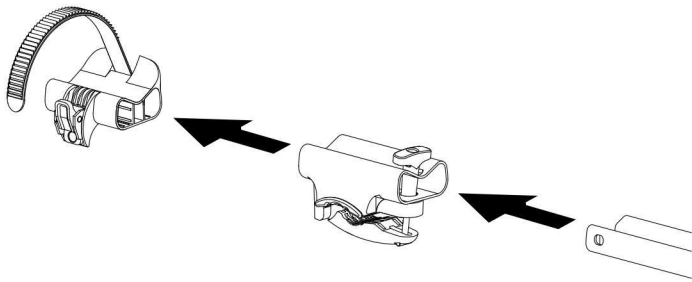


リアクロスバーの前にリアクランプを
取り付けた場合

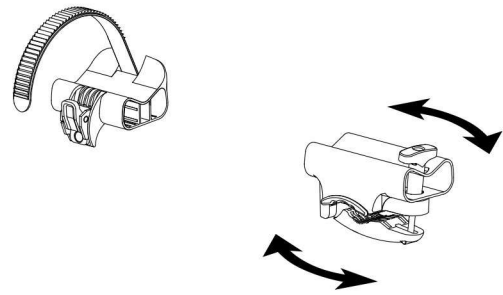


リアクランプの向きを変更しても、
リアホイールがノブに接触する場合は、
購入した販売店までご連絡ください。

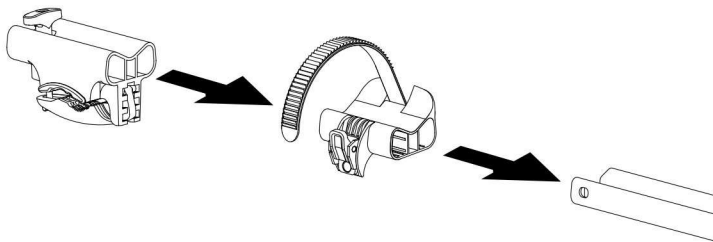
ホイールトレイとリアランプを取り外します。



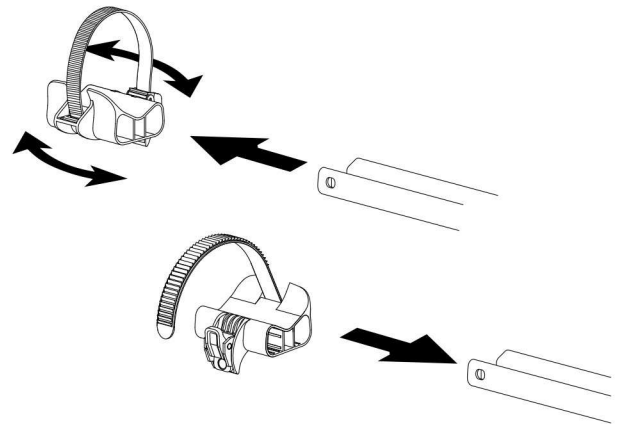
リアランプの向きを180度反転させてください。



ホイールトレイとリアランプをフォークリフトにスライドさせて取り付け直します。

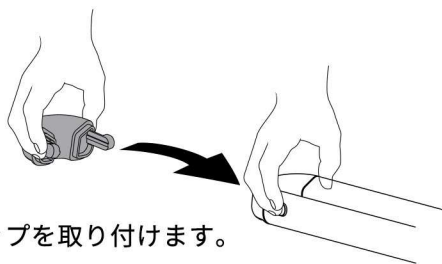


必要に応じて、ホイールトレイまたはリアランプを個別に反転して使用できます。たとえば、反対側のバックルを使用する場合は、図のようにホイールトレイを反転させてください。

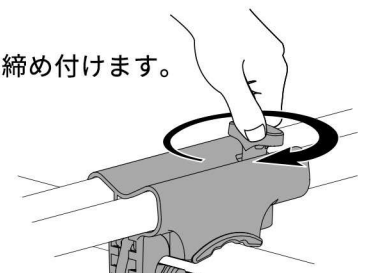


4 ノブを締め付け、ロックングスライダーを閉じます。

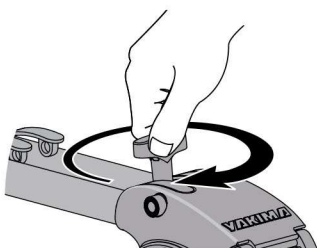
エンドキャップを取り付けます。



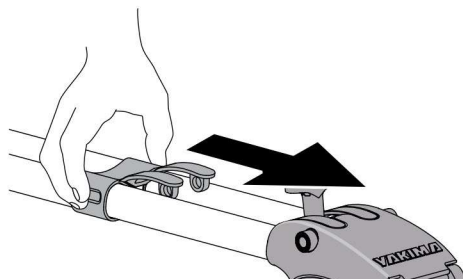
リアノブを完全に締め付けます。



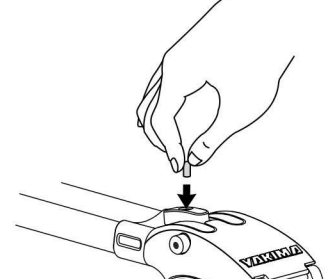
フロントのノブを完全に締め付けます。



ロックスライダーを閉じます。

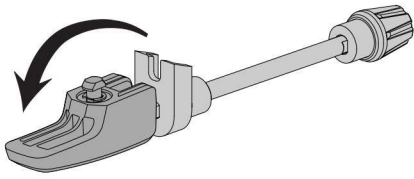


ビニールキャップを取り付けます。

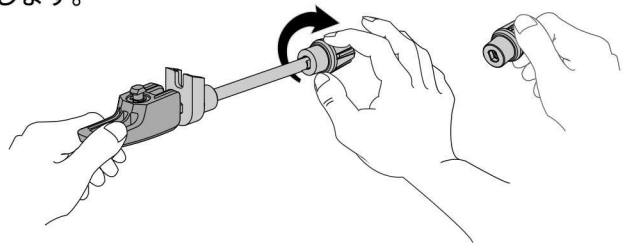


5 ロッキングスクリューからノブを取り外します。

レバーを開きます。

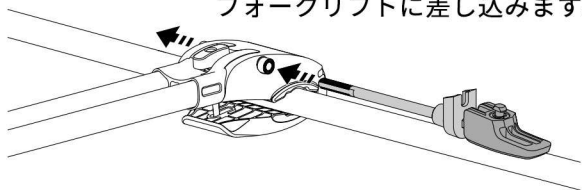


ノブを外します。



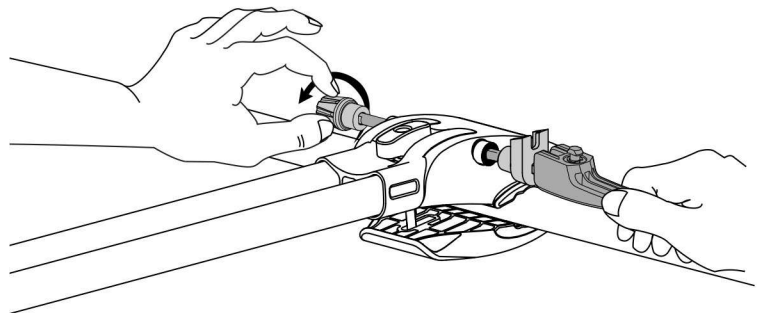
6 ロッキングスクリューを取り付けます。

図のようにシャフトを
フォークリフトに差し込みます。



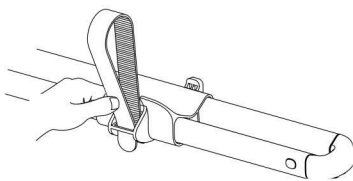
ロックングスクリューの向きは任意です。
ロックの操作に支障がないか確認してください。

自転車のフォークを配置するスペースを確保して、
ノブを元通りに取り付けます。

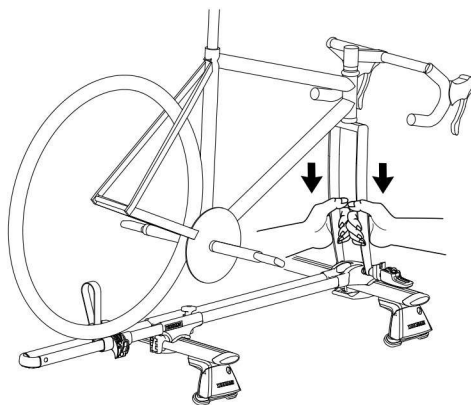


7 前輪を取り外した自転車を載せます。

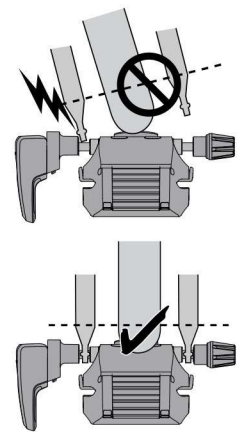
自転車が載せやすいように、
ホイールストラップを
スロットに差し込んでください。



フォークをロックングスクリューに垂直に配置します。
フォークが完全に固定されているか必ず確認してください。



フォークの損傷に
ご注意ください！



レバーを開いた状態で、
ノブを時計回りに締めます。
レバーがしっかりとした
抵抗力を持って閉じるまで
回します。



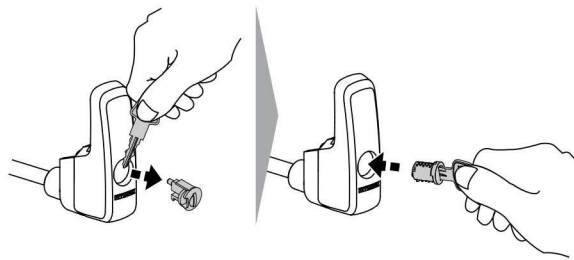
レバーを閉じます。
閉じるときに手応えを感じるはずです。



少ない力でレバーが
閉じる場合、
自転車は固定されて
いません。

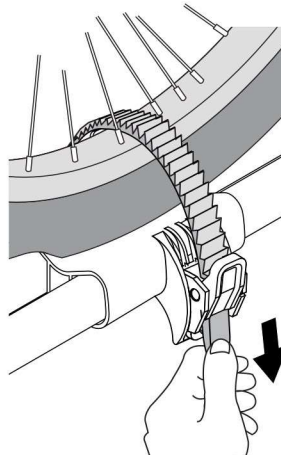
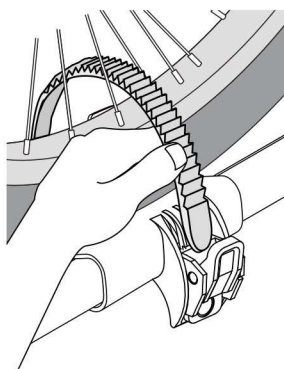
8 SKSロックコアを取り付ける場合 (別売り)

SKSロックコアをご購入の際は、SKSロックコアの説明書に従って取り付けてください。



9 後輪を固定します。

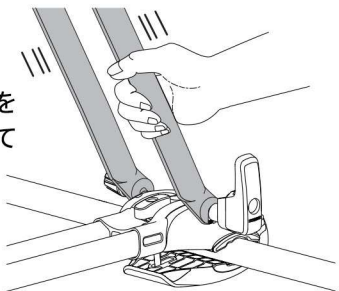
- ・ホイールストラップをスポークの間からおし、ホイールトレイのスロットに差し込みます。
- ・バルブがある部分は避けてください。



しっかりと、きつく締め付けてください。

10 自転車がしっかりと固定されていることを確認してください。

自転車のフォークを引っ張って確認してください。

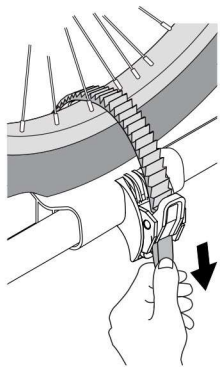


取り付け状態を確認してください！

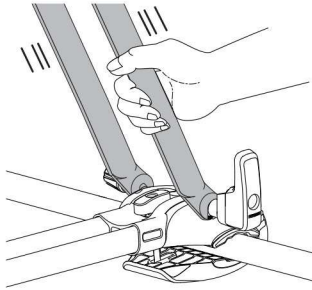
フォークがマウント内で動く場合は、⑦の手順でロックングスクリューのレバーを開き調整ノブをさらに締めてください。

✓ 走行前に

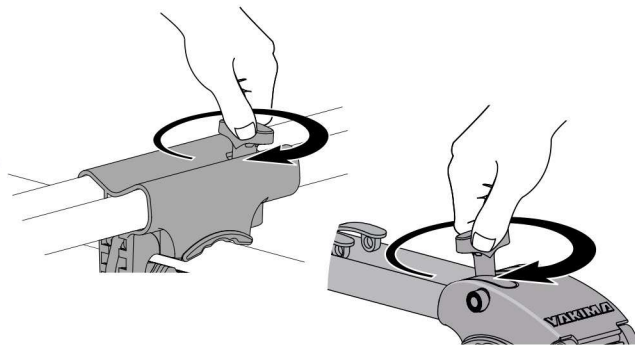
後輪を確認してください。必要に応じて、ストラップを締め直してください。



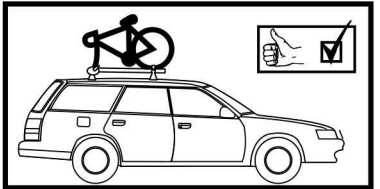
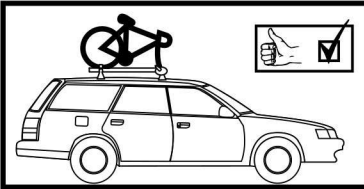
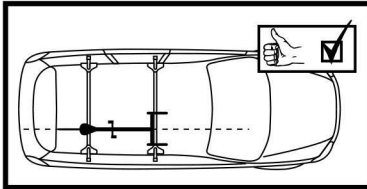
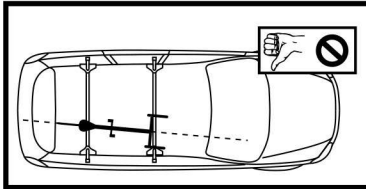
自転車のフォークが確実に固定されているか確認してください。



ノブが十分に閉まっているか、定期的を確認してください。



クロスバーの安定性を確保するために、ベースキャリアが確実に固定されているかをこまめに確認してください。



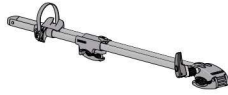
重量制限



ベースキャリア、及びキャリアの耐荷重を確認し、
積載量が耐荷重を超えないようにください。



ラックの本体重量



フォークリフト
本体重量
3.2kg



自転車重量
最大15.9kg/1台あたり



ベースキャリアの耐荷重以下に
収める

※車両のルーフ耐荷重に依存します。

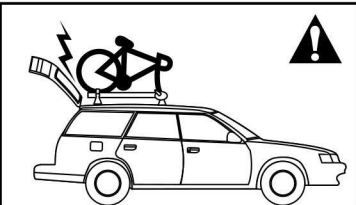
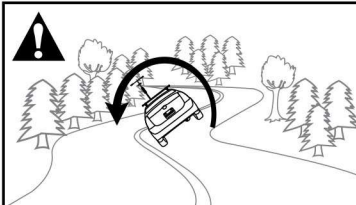
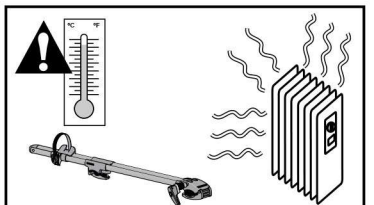
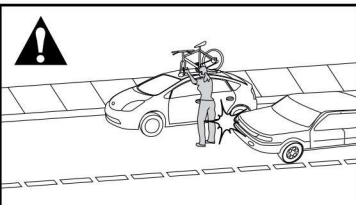
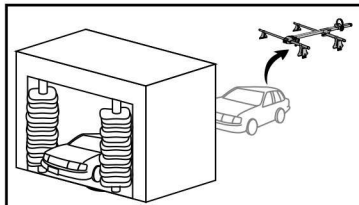
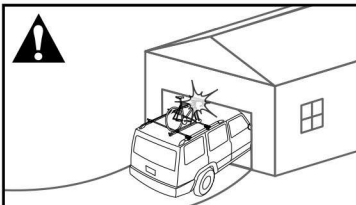
メンテナンス

ネジには水溶性でない潤滑剤を使用してください。
プラスチック部品の清掃には、水と中性洗剤を浸した柔らかい布を使用してください。

警告



すべての取り付け金具が、取扱説明書に従って確実に固定されていることを確認してください。
取り付け金具は時間の経過とともに緩むことがあります。
確実に固定されているかを使用前に確認し、必要に応じて締め直してください。



警告 (必ずお読みください!)

- この自転車キャリアは、標準的な100mm×9mmクイックリリース式フロントハブを採用した自転車用に設計されています。専用のアダプターを使用しない限り、ほかのハブ規格（QR15、すべてのスルーアクスル、マベリック、レフティなど）の自転車を載せないでください。
- フォークにセーフティータブが装備されている自転車にのみ使用してください。
本キャリアを使用する際、セーフティータブを取り外したり改造したりすると、保証が無効になります。
- 本キャリアのクイックリリース機構を適切に取り付け、調整、使用、およびメンテナンスしない場合、車両や自転車への損傷、さらには重大な人身事故につながる恐れがあります。
- 自転車のドロップアウトに改造を施すと、フォークマウントの締め付け圧力が不十分になり、自転車の破損や紛失につながる恐れがあります。
- ディスクホイール、ホイールカバー、チャイルドシート、パニアバッグ、自転車用カバー、電動機付き自転車のモーターが付いたまま積載しないでください。
- 2人用自転車、リカンベント自転車は積載しないでください。
- オフロード走行での使用は推奨されておりません。
- すべてのフォークがYAKIMAのマウントに対応しているわけではありません。
お使いのフォークに本説明書に従ってマウントを使用できないような特殊な構造やデザインがある場合は、使用しないでください。

再取り付け

キャリアを再度取り付ける場合も、本説明書に従って作業をおこなってください。
取り付けのたびに安全点検を行ってください。

補修パーツ

補修パーツにつきましては、商品を購入した販売店までお問い合わせください。

この取り付け説明書は、取り付け後も大切に保管してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>

日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

 **AUTOPROZ**

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>